

ひたち市民オペラ 25周年記念公演《写真展》

撮影／及川隆史
茨城県立多賀高等学校写真部

令和5年2月1日(水)から
2月26日(日)まで
9:00～22:00※最終日は17:00まで

会場 日立シビックセンター 1階アトリウム

料金 入場無料



令和4年9月19日に開催されたひたち市民オペラ25周年記念公演の記録写真を展示します。プロカメラマン及川氏と多賀高校写真部の記念作。本番の迫力あるシーンから楽屋の準備風景まで、記念公演の様をお届けします。皆様のご来場をお待ちしております。

ワンコイン・コンサート～声の饗宴～

出演／薄井美伽 (ソプラノ)
黒澤栄理子 (ソプラノ)
阿部桂子 (ピアノ)

令和5年2月26日(日)
14:00開演(13:30開場)

会場 日立シビックセンター3階 音楽ホール

料金 全席自由500円
※コンサート当日1Fチケットカウンターにてお支払いください



WEB予約受付中

<https://hitatchi-science.rsvsys.jp/reservations/subject/2746>



<Program> シャルパンティ作曲 オペラ《ルイーズ》より「その日から」
モーツァルト作曲 オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》より「ねえ、見て妹よ」
中田喜直作曲「さくら横ちょう」 他

—— 愛をうたう / Canta l'amore
ワンコイン・コンサートは、手ごろな価格で、ふらっと気軽に、コンサートを楽しむシリーズ企画です。
今回は、バレンタインにホワイトデー…そんな愛の季節に、日立市出身のソプラノ歌手のふたりが、イタリア、フランス、ドイツ、日本の愛のうたをお届けします。

【お問い合わせ】

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください

〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター
「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」事務局まで
TEL：0294-24-7755 FAX：0294-24-7979

編集 後記

演目のすべてが終わった。拍手の中、幕が降りた。歌い手・演奏者・演技者・スタッフ・事務局の皆さんがそれぞれのポジションで十二分に準備をして当日に臨み、持てる力を出し切った。“ヤッター”思わず心の中で叫んだ。舞台の袖に引き上げてきた人達の額の汗がキラキラしていた。
25周年の記念イベントに携われたことが、また、良い思い出になった。
(T・K)

Opera Net Hitachi

オペラネットひたち 2023.1 Vol.21

発行：ひたち市民オペラによるまちづくりの会、公益財団法人日立市民科学文化財団

魅せた ひたち市民オペラ25周年の成果

あつという間の2時間半。公演を終えたいま、感動に震えると同時に、私の脳裏にはこれまで歩んできた25年余にわたるオペラへの思いと活動のシーンが走馬灯のようにあらわれては消えてゆく。当分、この感激は醒めやらないでしょう。コロナの感染蔓延という困難を乗り越え、この公演を成功に導いた最も大きな力は、日立市民および日立シビックセンター音楽ホール担当スタッフたちのオペラに注いだ情熱の結集といえるでしょう。

そもそも日立でオペラ事業が展開された理由は、“音楽文化活動を超えて、よりよき日立の街を作ろう、よりよき市民の絆を深めよう”との思いこめて始められたものと聞いています。幸いなことに、日立市には合唱のまちと言われるほどの素晴らしい音楽的素地に恵まれていました。それゆえに、当会「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」なる組織の事務局がシビックセンター内に置かれ、“ニューイヤーオペラコンサート”や“野外オペラ”、“オペラサロン”、“子どもオペラ学校”など、多くのオペライベントが展開されてきました。

オペラ事業が推進されるなかで、活動を継続しているひたちオペラ合唱団や裏方スタッフのベテラン達と共に、子どもオペラ学校OBOGの若者と児童合唱団の子どもたちが作り上げた25周年記念公演の舞台を見ると、ひたち市民オペラがまちに根付き、文化のまちづくりに貢献しているとの確信を持つに到りました。さらに、デジタル化が叫ばれる今日、大学生などが中心となり、SNSなどを通して広報・宣伝などの情報を発信するなど、ひたち市民オペラは確実に成長を遂げています。

それにしても今回の公演では、バレリーナたちによる華麗な踊りとソリストたちが醸す音色・響きが特に印象的であり、オペラがこれからもまちづくりに貢献することを期待します。



ひたちオペラ25周年記念公演

トゥーランドット G.プッチーニ作曲 歌劇 TURANDOT

ハイライト&オペラガラコンサート

出演・参加を終えて…

野田ヒロ子 (トゥーランドット)

この度の公演の成功、おめでとうございます。

あの様に素晴らしい舞台で私も歌わせていただけで幸せでした。

セミステージのハイライト公演とはいえ、終わってみると普通にオペラ公演1本分の、いえ、カルメン、アイダ、マクベス、トゥーランドットのオペラ4本分の充実感ある公演でした。

あの薄暗い明かりと子供たちの声と、思い出すと身体がポーッと温かくなります。とても素敵でした。

関係者の皆さま、本当にありがとうございました。



中畑有美子 (リユー)

歌手人生2度目のリユーを日立で皆様とご一緒できたこと、本当に誇らしいです。

市民合唱の方々も歌いっぱなし立ちっぱなしはかなり大変だったと思いますが、練習への真摯な取り組み姿勢、そして本番の爆発力共にとても素晴らしかったです。

子供たちも一所懸命取り組んでいる姿が微笑ましく、一緒に舞台に立てて嬉しかったです。

スタッフの方々には終始きめ細やかな対応をして頂き感謝してもきれません。

皆様、本当にありがとうございました。



薄井美伽 (フラスキータ・合唱)

今回は豪華なソリストの皆さんはじめオペラ合唱団の皆さん、子どもオペラ学校時代の卒業生と共に舞台上で演じ歌うことができ、大変貴重な経験をさせていただきました。

ひたち市民オペラの25年という長い歴史は、たくさんの方の思いと協力の賜物だと改めて感じました。音楽家を志すきっかけくれたこのひたちの舞台にまた戻ってこられるよう、更に精進していきたいと思えます。



相山潤平 (ラダメス・皇帝)

この度は記念公演ご成功心からお慶び申し上げます。ソリストとして両ステージ出演出来まして誠に幸せてございました。私は野外オペラ「トゥーランドット」公演を偶々買い物帰りに見かけ、結局最後まで立ち見でみてしまい、以降その時の情熱が枯れず遂にはオペラ歌手になりました。今後もオペラを通して活気あるまちづくりにお役に立てるよう微力ながら尽力したく存じます。これからも皆様と共にオペラを楽しんでいければ幸いです。



高清水奈那美

(子どもオペラ学校OG合唱・宣伝PR(SNS)チーム)

SNSチームは手探りで慣れないところも多く苦戦しましたが、チームの仲間はもちろん、周囲の方のお力添えのおかげで、本番まで更新を遂げることができました。

本公演はひたちのオペラ25周年記念ということで、長い歴史の中に新しい風が吹いた公演になったのではないかと考えています。そんな公演でSNSの投稿に挑戦させていただけたことがとても楽しく、幸せでした。ありがとうございました。

伊藤喜美子(ひたちオペラ合唱団・広報チーム)

当日は、お客様をお迎えする係と出演者として舞台上の人に分かれてきました。

私は合唱へ参加し、皆様と一緒に《トゥーランドット》を創り上げていく過程は実に楽しく、多くの人に支えられていることを実感しました。練習期間中にもたくさんの交流があり、うれしい時間でした。

係を務めたメンバーから、「万全のコロナ対策をして、いつもと違うご案内でしたが、気持ち良くお過ごしいただくよう心がけました。」「活動から25年余りにして初めて客席から舞台を鑑賞しました。新鮮さと感動を覚えました。」「と感想をもらいました。

私もメンバーも、フィナーレの感動は忘れられません。続けてきて良かったです。

島崎光凜(舞台チーム)

舞台美術のデザインに参加させていただき、とても素晴らしい経験をさせていただきました。演出兼舞台監督の八木さんと打ち合わせを重ね、観客の皆さんにどのように見えるのか、どのように見せたいのか意見を交わしながらデザインしていきました。当日は衣裳チームのお手伝いもさせていただき、オペラが総合芸術と言われる理由の一片を実感しました。

素敵な舞台を作るお手伝いできて光栄です。

岩田朋佳

(子どもオペラ学校OG合唱・宣伝PR(SNS)チーム)

今回の公演は、私にとって約3年ぶりのオペラでした。稽古を始めた頃は焦りもありましたが、稽古を重ねていくと消えていきました。薄幕の後ろに板付きで立ったとき、マスクの下で演目には似合わない笑顔を浮かべてしまいました。それほどまでに、私にとってオペラは愛しいもので、市民オペラは私の居場所なのです。素敵な舞台に立たせてくれてありがとうございます。きつとまた帰ってきます。

菊池誠(衣裳チーム)

今回は日立市民会館での公演のため、GP、HP、本番に向けて、衣裳の手直し対応などを考え、今までよりきめ細かく準備する必要がありました。しかし、合唱団と衣裳部が同じ部屋になり、その距離がより近くなったと感ずることができました。

衣裳部としては、新旧メンバーがそれぞれの得意分野を担当することで、自分の持てるスキルを十分に活かし、より充実した時間を過ごすことができました。

原田実能(まち・渉外チーム)

まち・渉外チームはその名前の通り、まちのみなさんとの接点をもちながら協賛金を募ることが主な活動になります。資金面でオペラ公演を支えることが第1の目的ですが、私たちのチーム活動の醍醐味は何といっても、オペラとの接点の無かった方々が、協賛を通して会場に足を運んでくださり「オペラってこんなに面白くて感動的なものだったんですね!!」との一言をいただける瞬間です。誇りをもって声掛けさせていただきました。